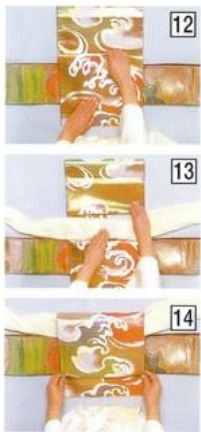


楽の詩の帯たの で袋帯(二重太鼓)を結ぶ

特許番号
楽詩帯ふくら雀両用 3215355号
楽詩帯二重太鼓用 3215356号

お太鼓 (写真12~15)



⑫
⑬
⑭
二重太鼓の場合、垂れ先をきめてトップの山に四センチ位帯をさしこみフックをかけます。あらかじめ用意しておいた枕をフックの上に置きお太鼓を作ります。枕を置く位置で大きさは自由。



着 装 (写真16~18)



⑯
⑰
本体を正面中央で揃えらるとお太鼓は中央にあります。胴を廻し手先の下にさしこみます。(ボタンは別に止めなくてもよい)。



⑥
⑦

胴部分を半分折り、手先を二重にした間を通し、左に出し、折り返して長さをきめます。



⑦



⑧

⑧
⑨
クリップの位置(前もって印を付けておく)に自分の好きな柄をおき、余分を左に引きテープで止める。



⑨



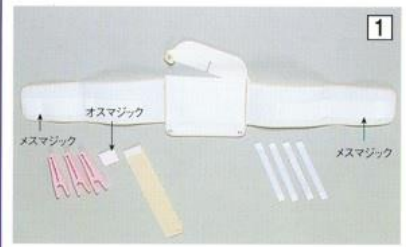
⑩

⑩
⑪
クリップの位置と背中心(トップの溝の位置)を、倍(プラス二センチ)すると胴廻りの寸法となり余りをさしこみテープで止めます。



⑪

始めに (写真1~2)



①



②

①
②
お太鼓部分を背の中央におき、左、右と巻き、中心の位置(クリップ)に印を付けておく。

胴廻り(手) (写真3~11)



③



④



⑤

④
⑤
袋帯は垂れ先より約一六〇センチを目安として三角を作ります。帯を手前に返して、柄位置を調整し(クリップを移動)トップの溝にはめこみ、ホックをとめます。

名古屋帯のセット方法

二重太鼓とちがう所だけを説明します。

垂れ先から100センチ位の所をつまんで三角に折りたたみ、胴をつくります。フックは直接トップにはさ込み、枕を置きます。

